

大阪広域水道企業団

事業管理部 技術管理課（技術管理グループ）

電 話 06-6944-6869（直通）

F A X 06-6944-6974

水道施設を活用した仮想発電所（VPP）事業への参画

当企業団は、水道事業者としては先進的な取組みである仮想発電所（VPP[※]）事業に参画するため、令和3年3月31日に関西電力株式会社と契約を締結しました。

当企業団は大規模事業者の社会的責務として、「環境にやさしい水道事業者」を目指し、今後も継続して環境保全に取り組んでいきます。

※ VPP：バーチャルパワープラント

1 仮想発電所（VPP）事業について

本事業は、電力の安定供給や再生可能エネルギーの導入促進につながる取組みです。電力の需要家側の電気使用量の増減、太陽光発電設備及び蓄電池等の分散するエネルギーリソースを束ねることで、あたかも一つの発電所のように機能させるものを仮想発電所（VPP）と呼び、電力の需給バランスの調整に活用します。

2 VPP 事業における当企業団の役割

VPP 事業者である関西電力株式会社からの負荷調整の指令に基づき、浄水池の調整能力（貯留量）を活用し、ポンプ設備を部分的に停止させることで調整力を提供します。

負荷調整については、水道水の安定供給に影響を与えない範囲で実施します。

また、提供した調整力の実績に応じた報酬を得ることができます。

※詳細は HP 参照：<https://www.wsa-osaka.jp/joho/jigyogaiyo/kankyuu/5811.html>

3 対象機場

庭窪浄水場（調整力：290kW）

松原ポンプ場（調整力：800kW）

※調整力の合計は、一般家庭の平均契約電力に換算すると約 300 軒分に相当します。

4 事業期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日